

令和5年度 由利本荘市商工会アクションプログラム 総括表

戦略		施策	達成状況※1	施策目標（指標）	R5実績値（目標値）	達成状況※2	施策目標に関する検証及び次年度への改善点（要約）
共通戦略	1 革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進	1 挑戦する事業者への徹底した個社支援	未達成	(1) 経営革新計画等認定件数	7件(10件)	未達成	効果的に実施するためにはチーム支援体制の強化や案件の情報共有を徹底していく他、専門家の活用も促進していく。
				(2) 創業者輩出数	19名(11名)	達成	創業塾受講者が創業を志す同志としてコミュニケーションを取りやすくするため交流機会の場を設ける。
		2 事業者の持続的発展を促す支援の推進	達成	(1) 事業計画策定企業数	190社(120社)	達成	記帳継続指導先に対しては支援員と指導員が連携しながら新記帳システムを活用した財務分析を行い事業計画策定支援に繋げる。
				(2) 事業承継計画の実現企業数	6件(6件)	達成	日頃の巡回の中から具体的な事例を紹介しながら現実的なスケジュールリング作成など実現に向けた支援を展開していく。
	2 新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進	3 事業者間・地域間連携による取組の促進	達成	(1) 連携体の設立数	1件(—)	達成	洋上風力関連ではSPCと連携を深めながら活動機会を増やしていく
				(2) 広域連携商談会（仮称）への参加事業者数	13社(7社)	達成	山形庄内商談会に代わる商談会参加を促しながら会員へのマッチング機会を提供する。
		4 地域コミュニティー維持に資する地域内連携の促進	未達成	(1) 新たなビジネスモデルを模索する事業者の輩出数	22社(10社)	達成	SDGsと企業経営とを結びつける実践的な事業者向けセミナーを開催する。
				(2) 事業継続力強化計画認定企業数	1件(8件)	未達成	BCP計画策定の重要性や必要性を身近に感じてもらうため、被災地の商工会を通じた情報収集等で会員への周知を図る。
	3 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築	5 会員サービス向上に資する新たな組織・運営体制の構築	達成	(1) 本支所の設置数	8拠点(8拠点)	達成	拠点数の計画が前倒しで進むことになったため本支所内の整備など作業レベルで弊害がないよう詳細なスケジュールを立てていく。
				(2) 巡回・窓口支援における実行支援の件数	2,358件(1,100件)	達成	限られたマンパワーを最大限に発揮しながら成果を出していくためには既存事業の見直しや業務改善の更なる検討が必要である。
6 事業者及び組織の課題解決に導く職員の育成		達成	(1) チーム支援による課題解決件数	22件(14件)	達成	業務の見直しを進めていきながら個社支援に集中できる環境づくりが必要である。	
			(2) 職員の業務目標達成率	100%(80%)	達成	職員個々の自己研鑽と高度な経営支援ができるよう、引き続き外部主催研修会への積極的な参加や資格取得奨励制度体制を整える。	
独自戦略	1 デジタル社会・企業の実現に向けた由利本荘地域DXの推進	7 デジタル技術活用によるビジネスモデル変革の推進	未達成	(1) IT導入補助金等採択事業者数	3件(24件)	未達成	補助金等活用事例を通してDXに対する意識のハードルを下げるとともにDX版事例集の取りまとめを検討する。
				(2) デジタル技術活用による創業・経営革新等実現事業者数	2社(3社)	未達成	創業者はDXへの対応に抵抗が少ない傾向が見られるため、創業塾等初期の段階からDX推進支援を強化していく。
		8 仮想空間を活用した新たな産業振興事業の展開	達成	(1) 「仮想工業団地データベース」等登録事業者数	213社(210社)	達成	記帳支援先や補助事業計画の策定支援先等関わりが強い小規模事業者や商業・サービス業者に対しては掘り起こしの余地がある。
				(2) 事業参画による売上の拡大率	70%(50%)	達成	参画事業者に対する成果指標の把握については予め事業開始の段階からアンケート調査等の時期を明確に示していく。
	2 メガインフラを活用した由利本荘経済の活性化	9 交流人口拡大をビジネスチャンスに繋げる地域の仕組みづくり	達成	(1) 地元事業者の事業参画数	147社(100社)	達成	元請先など関係者との連携をさらに強めつつ引き続き積極的に情報収集を行い、得た情報をタイムリーに組合員へ提供する。
				(2) マッチング商談件数	—(—)	—	洋上風力では三菱商事他発電事業者に対し商談会開催を引き続き要望する。
	10 地域型ビジネスに繋がる観光事業の推進	達成	(1) 商品開発数	3品(1品)	達成	観光協会や観光振興課だけでなく農業・漁業関係者とも連携しながら観光資源の有効活用を検討していく。	
(2) 拠点となる観光施設の来場者			—(—)	—	市の総合防災施設ナイスアリーナでは全国規模のイベントが通年で開催されているため、管内消費の循環を後押しする会場の有効活用を模索していく。		
		達成数計	7/10		達成数計	14/18	

※1 達成状況には、「達成」「未達成」のどちらかを記入

※2 本年度目標設定していないものは「—」で表示。達成数計の分母はこれを除く